

国際言語文化科目
「理系国際言語文化コース」
(Dコース)の紹介

2019.4.2

国際言語文化センター

カーク スタンレー

中村典子

理系国際言語文化科目(Dコース)

基礎共通科目

第1希望、第2希望を4月3日(水)23:59までにWEBで登録

学習スタートナビ P.7~8

理系国際言語文化科目(「理系国際」と表示される)

<定員> **30名**

【定員オーバーの場合:コンピューター抽選にて30名が決定】

⇒ 抽選から漏れた人は、第2希望の基礎共通科目となる

目的:理系学生の英語力強化、グローバルな視点の養成

- 理系のための英語科目(ネイティブの先生の担当が多い)
- 「世界のサイエンス事情I・II」
- 文系学部学生が多い「国際理解」や「言語と文化」も受講可

D 理系国際言語文化コース科目表

<卒業までに8科目16単位履修>

『履修要項』のP.40参照

【理系国際言語科目】の特長

・少人数制

・下記の全科目:定期試験は行わず、
小テスト、課題や発表で評価

以下の科目より、

<4単位以上選択必修>



各科目:2単位

English for Science (前期)
Science Presentation (後期)
Science Writing (後期)
Science News I (前期)
Science News II (後期)
世界のサイエンス事情 I (前期)
世界のサイエンス事情 II (後期)

【国際文化科目】自由選択科目

国際理解 A・B・C・D・English

言語と文化 ドイツ I・II

言語と文化 フランス I・II

言語と文化 中国 I・II

言語と文化 韓国 I・II

【基礎共通科目コースと共通】

導入共通科目:

<2単位以上選択必修>

甲南大学と平生鈞三郎 (2単位)

共通基礎演習 (2単位)

国際言語科目のシラバス紹介 ①

English for Science (2単位) (前期:金4)

- Reading and listening to mostly authentic materials (passages and videos) from Internet , etc.
- 理系英語や学術英語に必要な読解力、語彙力を磨きます。
【担当:カーク】

Science Presentation (2単位) (後期:木3)

- Analysis of actual research presentations ; practice making poster and PP presentations about own research or a topic in science
- 基本的なプレゼンテーションの技術を磨きます。
- 科学用語の発音練習、モデルプレゼンテーションの視聴・分析、実際にパワーポイントでプレゼンテーションしてもらいます。 【担当:吉田桂子】

国際言語科目のシラバス紹介 ②

Science Writing (2単位) (後期:金4)

Study some genres used in academic scientific writing, practice basic academic writing techniques, improve grammar in writing, write several short paragraphs about scientific topics.

理系のライティングに必要なテクニックの基礎を学びます。文法の復習も行い、短いパラグラフを書く練習をします。【担当:カーク】

Science News I & II (各2単位) (前期:水5) (後期:水5)

Recent developments, discoveries, and issues in science, both in Japan and other countries; comparison of Japanese science trends with those of other countries.

最近の科学における発見や発展、科学のさまざまな問題を扱い、国内と国外で、重視されている傾向などを比較します。【担当:ストリンガー】

国際言語科目のシラバス紹介 ③

世界のサイエンス事情 I・II (各2単位)

- ・世界の著名な理科系の大学・研究機関・研究所等について知る
- ・他国に住む人々の生活習慣や考え方について知る

I:英語圏のサイエンス事情(前期:木2)

英語での指示を聞いて、コンピューターの操作を行い、
大学・研究機関等について調べます。

【担当:メーテンズ】

II:主として英語圏以外のサイエンス事情(後期:木2)

＜関西在住の理系の先生方、研究者がゲストスピーカー＞
海外の研究事情、学会発表などについて話を聞いて質問します。
研究調査等で、英語圏以外へ行く際の事情がわかります。
ゲストの先生方に、英語勉強法も聞けます。

【ドイツ・カナダ・中国・チェコ・オーストリアなど】

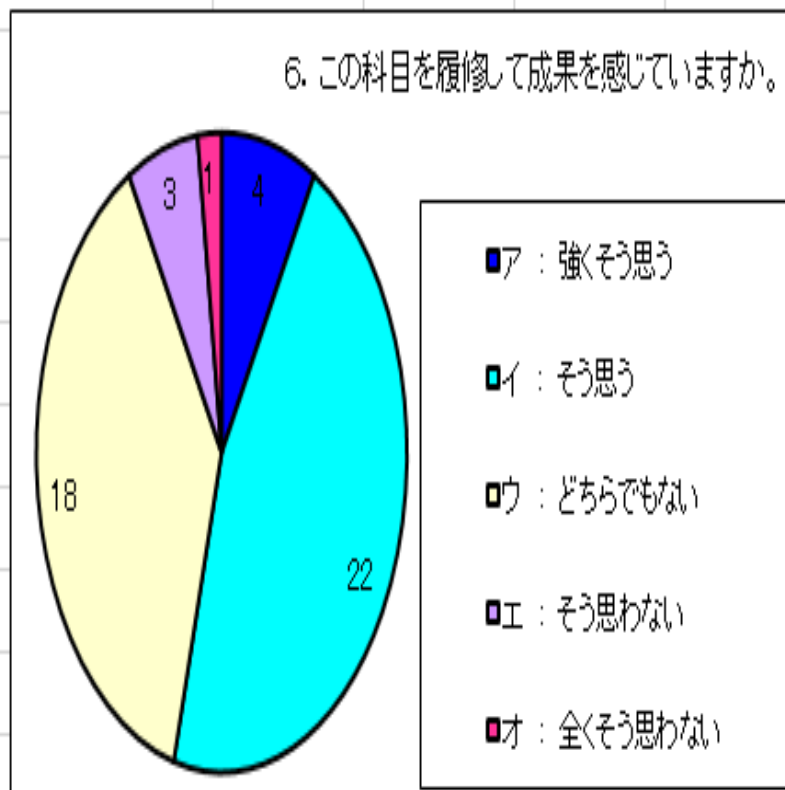
- ・ゲストスピーカーによる英語での講義が一部あり
- ・各自のプレゼンテーションも部分的に英語で行う

【担当:中村典子】

2018年度 Dコースで学んだ皆さんの先輩たちのアンケート結果より

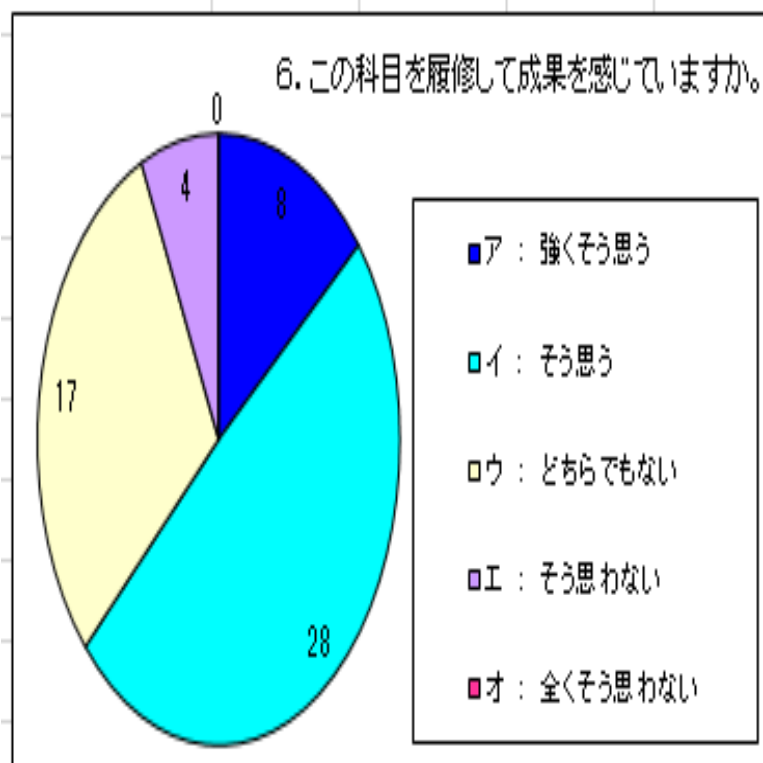
2018年度 前期

回答者数:のべ48人



2018年度 後期

回答者数:のべ58人



2018年アンケートの自由記述欄より（前期）

どのようなところが役に立つと思いますか？（約2/3の回答を提示）

- ボキャブラリが増えた(9人)
- 単語量が増え、理系英語が身に付く(2人)
- リスニングスキルが伸びる(5人)
- 英語でまとめる力(2人)
- 海外の人や大学を自分で調べることによって英語の文を読む力がつくと思う(2人)

- English for scienceで科学の知識を身につける
- 最新の科学について学べるから
- 科学への関心が深まる
- 世界のいろいろな知識が身についている
- 著名な科学者について詳細を知れること(4人)
- 卒論を書くときの知識(2人)
- パソコンの技術が身についたと思う(3人)
- 調べる力(2人)
- わからない

2018年アンケートの自由記述欄より（後期）

どのようなところが役に立つと思いますか？（約2/3の回答を提示）

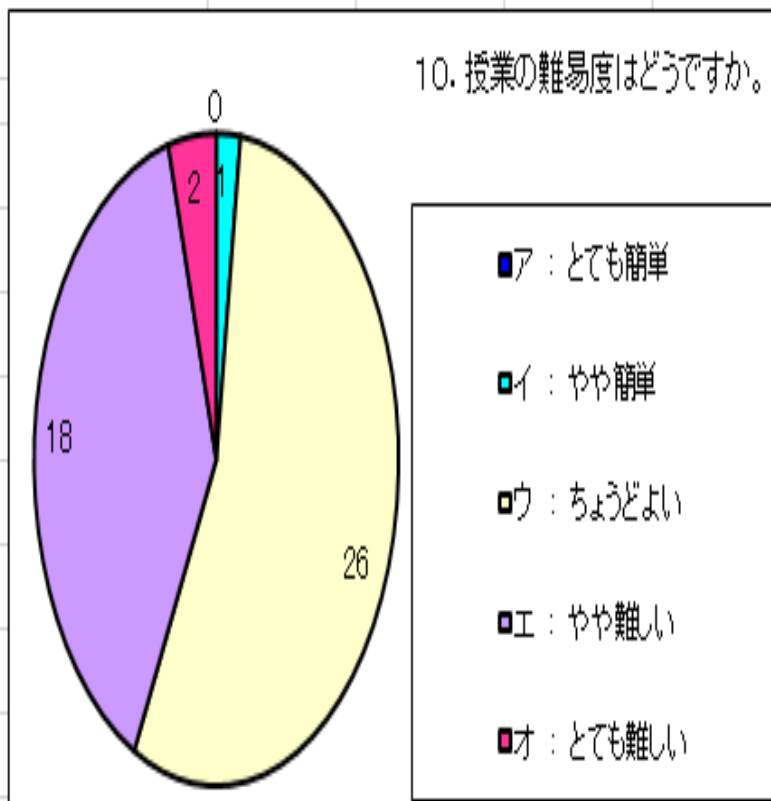
- 英語によるプレゼン能力(4人)、リスニング力、文章力が上がる(2人)
- 科学の時事問題を英語で知ることができる(2人)
- レポートの書き方、文法力、会話力、listening
- 英語での科学的な専門用語などを学べる。プレゼンやディベートが役に立つ
- 英語で話す力や聞く力が少し上がったと感じる
- How to give a Presentation easily. Notes of presentation. Communication of English.
- I could realize how to write English Sentences

- より国際的な問題に目を向けることができる(2人)
- 日本だけでなく、世界のサイエンスについて幅広く知ることができる(2人)
- 有名な先生の海外での体験談が将来の自分に役立つと思う
- 世界のサイエンスの事と英語が同時に学べた
- 役立つかは不明だが、科学者について知識が増えた
- 発表の仕方や英語についての考え方など
- ゲストの英語勉強法は役立てたい

2018年度 Dコースで学んだ皆さんの先輩たちのアンケート結果より

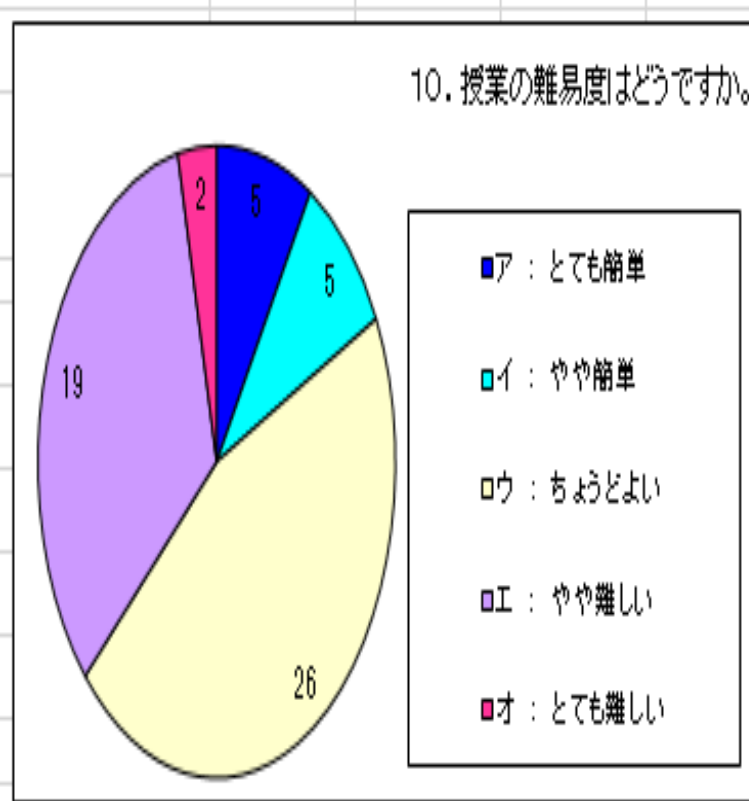
2018年度 前期

回答者数:のべ48人



2018年度 後期

回答者数:のべ58人



2018年アンケートの自由記述欄より (前期)

今後の授業の改善のために、授業の難易度について具体的に書いてください(全回答を提示)

- ・丁度良い(2人)
- ・今のままで大丈夫
- ・難しくないのよい
- ・少し難しいところもありますが、勉強していればなんとかなるので、丁度良いと思う
- ・日本人はSpeakingに慣れていないので、これぐらいがいいと思う

- ・テストが難しい(2人)、テスト範囲が広すぎる (注:授業内の小テストのことです)
- ・英語が苦手な方のことも考えてゆっくり話してほしい
- ・言っている内容が理解できない
- ・宿題の量が多すぎるので減らしてほしい
- ・毎回毎回、宿題があつて大変
- ・プレゼンが多い
- ・単語が難しい
- ・パソコンが苦手な人にとっては打つのがしんどい

2018年アンケートの自由記述欄より（後期）

今後の授業の改善のために、授業の難易度について具体的に書いてください（約2/3の回答を提示）

- ・もっと勉強したいと思った
- ・きつすぎず、ゆるすぎず、丁度良かった
- ・ちょうど良いです。ただ英語が理解できないとついていけないことをきちんと伝えてあげて、勉強させる計画を立たせるべき
- ・この授業は奥が深いから、つきつめると難しいけれど、とても楽しかった
- ・英語を話す機会が多いので初めはついていくのに勢いっぱいでした
- ・もう少し速くやってもいいと思う
- ・先生はやさしいけど英語は難しい
- ・難易度が高いことをするのは悪いことではない

- ・ある程度の英語力がないと専門的な英語を理解するのは難しい
- ・自分は英語が苦手なDコースを選んで得意になるつもりが、ついていけなかったため、Dコースにもレベル分けをしてほしい

2016年度に開設され、4年目に入った
「理系国際」(Dコース)です。

○質問がある場合には

どんな小さなことでも聞いてください。

1) 国際言語文化センター事務室(3号館1階)へ
直接問い合わせてください。

2) 次のアドレスへメールで質問してください。

回答者: 中村典子 : noriko@konan-u.ac.jp

件名: Dコース (学部・氏名)

【重要】 コース選択の前に、この説明ファイルをWEB上で
ゆっくりと見てください！

甲南大学 国際言語文化センター
Institute for Language and Culture at Konan University

お問い合わせ
Contact Us

トップ Home
センターについて About Our Institute
教員紹介 Academic Staff
学習 Educational Support
研究会 Symposia

KONAN UNIVERSITY
Institute for Language and Culture
国際言語文化センター

お知らせ
Recent News

一覧はこちら

2019/03/28 お知らせ 国際言語文化科目「理系国際言語文化コース」(Dコース)紹介のお知らせをUPしました。

2019/03/28 お知らせ 検定試験カレンダーをUPしました。

2019/03/28 お知らせ 2019年度(夏期)海外語学講座説明会のお知らせをUPしました。

2019/02/22 お知らせ 2019年度前期 社会人講習会のお知らせをUPしました。

2018/12/22 お知らせ 学年暦をUPしました。